

中宮中だより

No.1

平成28年(2016年)4月18日

枚方市立中宮中学校

校長 鶴島 茂樹

<意志を持とう！人とつながろう！！>

新年度が始まって、早くも10日たちました。私も、転勤早々で落ち着かず、今ようやくこうして通信を書いています。遅くなり、申し訳ありませんでした。

さて、始業式での私のお話を覚えているでしょうか？「最初がかんじん」そして、「いいクラスになってほしい」と願うのではなく、「いいクラスをつくるぞ！」という意志を持ちなさいということを行いました。

学級目標、役員決め、班づくり・・・進んでいますか？自分たちで考えてつくりましたか？自分の意志で役員になりましたか？自分たちで考えつくり上げた目標や班・・・自分たちでつくったものだからこそ、それを守り、活用し、発展させていく責任は自分たちにあります。だからこそ値打ちがあります。

みんなで力を合わせて、いいクラス、いい学年、そしてすばらしい中宮中学校を創り上げましょう！！

さて、みんなも知っての通り、今大変な災害が起こっています。九州熊本・大分の大地震です。最大震度7強という強烈な揺れを観測し、何十人という命が奪われ、多くの方が避難生活を余儀なくされています。

最近では4年前のあの東日本大震災、そして、かつて(20年前)この関西でも阪神淡路大地震が起こっています。当時私は枚方市内の団地に住んでいましたが、明け方、強い揺れとともに、台所の食器が全て数メートルも飛んで粉々になったことを昨日のこのように覚えています。

私は入学式で1年生のみなさんに、大切にしてほしい3つのこととして、「命」・「学び」・「想像力」について話しました。今回、多くの貴重な「命」が失われたことが言うまでもなく最も大変なことですが、ぜひ、みなさんには、今起こっていることについて、ただ、他人事としてニュースを見るだけではなく、実際の状況を想像してみしてほしいのです。被災した人たちの思いを想像してほしいのです。

今、私たちは、直接何か手助けすることは出来ません。しかし、そこにいる人の思いを感じ、気持ちを共有し、心から応援することは出来ます。

また、私たちはこの現実からきっと大切なことを「学ぶ」ことができるはずです。それは、お互いに助け合い支え合うということの大切さです。「今こそ助け合わなければ」という言葉が、まだまだしんどい状況の現地の方々から、そして全国各地からニュースを通じ

て届いています。それがあつ限り、きつこの災害を乗り越えることが出来ると信じます。

支え合ひ助け合ふこと・・・これは、災害があろうがなかろうが、私たちがこの社会で生きていくうえで、最も大切なことのひとつではないでしょうか。人は人とのつながりのなかで生きています。

みんなが、日ごろから家族を大切にすること、地域の方と挨拶をかわすこと、そして学校でいいクラスや学年をつくろうとすること・・・そんな一つひとつが、きつと、みんなが共に生活していくうえでの大きな力になっていくはずです。

みんなですつかり手をつないで、がんばっていきましょう！！

<保護者のみなさまへ>

あらためてご挨拶申し上げます。今年度より中宮中学校校長を拝命いたしました、
鶴島 茂樹 と申します。

私は、この中宮中学校区で生まれました。まだあるかどうかわかりませんが、中宮第一団地というところでは、何十年もたつてこうして中宮中学校に勤めさせていただくことになるとは、何か不思議な縁を感じております。

先生方と協力して全力でがんばっていきますので、ご支援ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。